

特集

地区診断から始まる、 える保健師活動

健康日本21(第2次)では、健康格差の縮小、ソーシャル・キャピタルの向上、社会環境の整備などの必要性が打ち出された。それらを支える保健師活動の基本は「地区診断」である。それでは具体的に何をすればよいのか。地区診断から始まる保健師活動のポイントを整理し、実践例を紹介する。

- 地区診断から始まる保健師の地区活動
- 「地区診断」において「健康格差の縮小」を考える
- 島根県における「働き盛りの健康づくり対策」
- 取り組みやすいデータの提供と研修で市町を支援
- 掛川市ふくしあの実践例